

事業概略書

事業名	訪問型生活訓練事業人材育成研修実施後の地域への展開とその効果測定及び通所型生活訓練事業の事業実態調査にもとづくケーススタディの実施
事業目的	<p>精神障害者の中で、就労・就学・主な家事・福祉施設等への定期的な通所を行っておらず、引きこもり状態の者が少なくない。富山県における引きこもり状態の精神障害者の割合や、生活の実態、家族の負担等を明らかにすると共に、訪問型サービスの利用実態と潜在的ニーズを明らかにしようとした。</p> <p>また、訪問型生活訓練を始めとする訪問型サービスは実施している事業所が少なく、サービス提供スキルを持つ人材が少ない現状を踏まえて、訪問型サービスを担う人材を育成するために、地域でどのような研修を行うことが有効であるかを明らかにしようとした。</p>
事業概要	<p>富山県の医療機関にアンケート調査を行い、通院患者数とそのうちのひきこもり状態にある患者数、ひきこもり患者の訪問型サービスの利用状況とニーズを調査した。また、富山県と石川県の家族会を通じて、精神障害者の日中活動状況や生活能力、訪問型サービスのニーズ調査を行った。</p> <p>国立精神・神経センターが主催した「訪問型を含めた生活訓練事業人材育成研修」の内容に沿った研修を地域で試行的に実施した。研修の前後に受講生へアンケート調査とインタビュー調査を実施し、研修プログラムへの評価、訪問型サービスへの理解度の変化などを調査した。</p>
事業実施結果及び効果	<p>調査対象のうち、6ヶ月以上引きこもり状態の精神障害者は、医療機関調査で4.2%、家族会調査では21%であった。この相違の理由については、今回の調査では解明できなかった。現在の訪問型サービスの利用は15.5%と少ないが、今後の利用ニーズは56.3%にのぼり、ニーズと現状のギャップが大きかった。</p> <p>研修では、訪問型生活訓練事業の先進的な取り組みの発表により事業の具体的なイメージを持っていなかった参加者がイメージを掴め、研修の企画準備やグループワークによる研修を通して地域の繋がりが強まり、訪問型サービス展開への意欲が高まった。しかし、地域で研修を展開するには、現場スタッフの研修準備や運営にかかる負担が大きいことが課題となった。</p>
事業主体	<p>〒930-0887 富山県富山市五福 474 番 2 社会福祉法人 富山県精神保健福祉協会 TEL : 076-433-4500 E-MAIL : office@yurinokinosato.com</p>